

学期	月	時数	単元名 項目名	○学習目標 ・学習内容	評価の観点		評価規準 評価方法
					知	思 態	
1 学 期	4 月	8	式 の 計 算	○単項式と多項式，次数の意味を理解する。 ・文字式を項の数やかけられている文字の個数で分類する。□	○		【知】単項式と多項式，次数の意味を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【態】○既習の計算方法と関連付けて，多項式の計算方法を考えようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)
				○同類項の意味を理解し，同類項をまとめる計算や，多項式の加法や減法の計算ができる。 ・同類項をまとめる計算や多項式の加法や減法の計算をする。	○	○	【知】同類項の意味を理解し，同類項をまとめる計算ができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】既習の計算方法と関連付けて，2つの文字をふくむ同類項をまとめる計算を考え，説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)
				○多項式と数の乗法や除法の計算ができる。 ・多項式と数の乗法や除法の計算をする。	○	○	【知】多項式と数の乗法や除法の計算方法を理解し，計算ができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)
				○単項式どうしの乗法や除法の計算ができる。 ・単項式の乗法や除法の計算方法を，面積図を使って考える。 ・単項式どうしの乗法や除法の計算をする。	○	○	【知】単項式どうしの乗法や除法の計算方法を理解し，計算ができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】単項式の乗法や除法の計算方法を，面積図を用いて考え，説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【態】単項式の乗法や除法の意味を考えようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)
				○単項式どうしの乗法と除法の混じった計算ができる。また，式の値をくふうして求めることができる。 ・単項式どうしの乗法と除法の混じった式を計算する。 ・式の値をくふうして求める方法を考え，□の方法で式の値を求める。□	○	○	【知】式の値をくふうして求める方法を考え，□の方法で式の値を求める。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】式の値をくふうして求める方法を考え，説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【態】式の値をくふうして求める方法を考えようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)
	5 月			○具体的な数の性質をもとに数の性質を見だし，その性質が成り立つことを，文字を使って一般的に説明できることを理解する。 ・3つの続いた整数の和の性質を，具体的な数の計算をもとに予想し，その予想がいつでも成り立つことを説明するには文字を使えばよいことを知る。	○		【知】文字を使うと，数の性質を一般的に説明することができることを理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【態】文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート) 【態】文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)
				○数の性質が成り立つことを，文字を使って説明することができる。 ・3つの続いた整数の和は3の倍数であることを，文字を使って説明する。	○		【知】文字を使って数量を表したり，説明することから合わせて文字式を変形したりすることができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】数の性質が成り立つことを，文字を使って説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】文字を使った説明を読んで新たな性質を見だし，問題の条件を変えて統合的・発展的に考え説明したりすることができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)
				○数の性質が成り立つことを，文字を使って説明することができる。 ・2けたの自然数と，その数の一の位と十の位を入れかえた数との和の性質を予想し，その予想がいつでも成り立つことを，文字を使って説明する。 問題の条件の「和」を「差」に変えて考える ・カレンダーの数の並びで，いろいろに囲んだ数の和の性質を予想し，その予想がいつでも成り立つことを，文字を使って説明する。 ○目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し，等式を変形して，ある文字について解くことができる。 ・具体的な問題の中の数量の間の関係を等式で表し，その等式を成り立たせる文字の値を求める。	○	○	【知】文字を使って数量を表したり，説明することから合わせて文字式を変形したりすることができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】数の性質が成り立つことを，文字を使って説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】問題の条件を変えて統合的・発展的に考え，説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】数の性質が成り立つことを，文字を使って説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【態】文字式を活用した問題解決の過程を振り返って，検討しようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)
	6 月		1 9	○2元1次方程式とその解の意味，連立方程式とその解の意味を理解する。 ・2元1次方程式とその解の意味を知る。 ・連立方程式とその解の意味を知る。 【用語・記号】2元1次方程式，(2元1次方程式)の解，連立方程式，(連立方程式)の解，(連立方程式)を解く	○	○	【知】2元1次方程式とその解の意味を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【態】連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)
				○連立方程式では，1つの文字を消去して1次方程式をつくれれば解けることを理解する。 ・具体的な問題で，2つの式を比べて1つの文字を消去する方法を考える。 ・文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式を解く。 ○加減法を理解し，それを用いて連立方程式を解くことができる。 ・文字の係数の絶対値が等しくない場合の連立方程式を解く。 ○代入法を理解し，それを用いて連立方程式を解くことができる。 ・求めたい数量が2つある問題で，連立方程式と1次方程式を関連付けて，文字を消去する方法を考える。 ・連立方程式を代入法で解く。 ・連立方程式を適当な方法で解く。 ○かっこをふくむ連立方程式や，係数に小数や分数をふくむ連立方程式を解くことができる。 ・かっこをふくむ連立方程式を解く。 ・係数に小数や分数をふくむ連立方程式を解く。 ○ $A=B=C$ の形をした連立方程式を解くことができる。 ・ $A=B=C$ の形をした連立方程式を解く。	○	○	【知】連立方程式では，1つの文字を消去して1次方程式をつくれれば解けることを理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【知】文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式を解くことができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式で，1つの文字を消去する方法を考え，説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【態】1元1次方程式と関連付けて，連立方程式を解く方法を考えようとしている。 【知】加減法を理解し，それを用いて連立方程式を解くことができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】一方の式を他方の式に代入し，文字を消去する方法を考え，説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【知】かっこをふくむ連立方程式の解き方を理解し，解くことができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【思】いろいろな連立方程式を，既知の連立方程式になおして解く方法を考え，説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【態】いろいろな連立方程式を，既知の連立方程式になおして解く方法を考えようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート) 【知】 $A=B=C$ の形をした連立方程式の解き方を理解し，解くことができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)
	7 月			○個数と代金に関する問題を，連立方程式を利用して解決することができる。 ・個数と代金に関する問題を，連立方程式を利用して解決する。			【知】連立2元1次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している (振り返りシート・単元テスト・定期考査)

			<p>○速さ、時間、道のりに関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さ、時間、道のりに関する問題を、連立方程式を利用して解決する。 <p>○割合に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割合に関する問題を、連立方程式を利用して解決する。 	○ ○ ○	<p>【思】求めた解が問題に適しているかどうかを、問題の場面に戻って考え、説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】連立2元1方程式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。</p> <p>(ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
8月	1 9	1次関数	<p>○1次関数の意味を理解し、$y=ax+b$の式に表すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の意味を知る。 ・yをxの式で表して、yはxの1次関数であるかどうかを調べる。 ・比例や反比例は、1次関数であるといえるかどうかを考える。 <p>○1次関数$y=ax+b$では、変化の割合は一定で、aに等しいことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の値の変化を調べ、比例との共通点やちがいについて話し合う。 ・1次関数の変化の割合について調べる。 	○ ○ ○	<p>【知】1次関数について理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】1次関数の必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>(ノート・ワーク・振り返りシート)</p> <p>【知】1次関数$y=ax+b$で、xの増加量からyの増加量を求めることができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】1次関数の値の変化の特徴を見だし、説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
			<p>○1次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1つの直線であることを理解する。また、1次関数のグラフの切片の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数のグラフがどのようになるかを、点を細かくとって調べる。 ・1次関数$y=ax+b$のグラフと比例$y=ax$のグラフの関係について調べる。 	○ ○ ○	<p>【知】1次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1つの直線であることを理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】1次関数のグラフの特徴を見だし、説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】比例のグラフと対比させて、1次関数のグラフの特徴を捉えようとしている。</p> <p>(ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
9月	1 9	1次関数	<p>○1次関数のグラフの傾きの意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の変化の割合は、グラフではどのようなことを表しているかを調べる。 <p>○1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかく。 	○ ○ ○	<p>【思】1次関数のグラフの傾きの意味を理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【知】1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】1次関数の表、式、グラフを、相互に関連付けて考え、説明することができる。</p> <p>(ノート・振り返りシート)</p>
			<p>○グラフの傾きと切片を読み取って、1次関数の式を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフの傾きと切片を読み取って、1次関数の式を求める。 ・グラフの傾きとグラフが通る1点の座標から、1次関数の式を求める。 ○グラフが通る2点から、1次関数の式を求めることができる。 ・グラフが通る2点の座標から、1次関数の式を求める。 	○ ○ ○	<p>【知】グラフの傾きと切片を読み取って、1次関数を求めることができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【知】グラフが通る2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
10月	1 5	平行と合同	<p>○2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式の解について調べるために、2元1次方程式の解を座標とする点をとって、どのようなグラフになるかを調べる。 	○ ○ ○	<p>【知】2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
			<p>○連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかくて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを確かめる。 ・連立方程式の解をグラフをかくて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりする。 <p>○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する方法を説明することができる。</p> <p>具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する。</p>	○ ○ ○	<p>【思】連立方程式の解の意味を、2つの2元1次方程式のグラフを用いて捉え、説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>(ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
2学期	1 5	平行と合同	<p>○n角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・n角形の内角の和の求め方を、多角形をどのように三角形に分けるか、また、いくつの三角形に分かれるかをもとにして説明する。 ・n角形の外角の和の求め方を、n角形の内角の和をもとにして説明する。 	○ ○ ○	<p>【知】多角形の内角、外角の意味を理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】n角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】多角形の角についての性質の説明で、もとにしていることがらを考えようとしている。</p>
			<p>○対頂角の意味を理解し、対頂角は等しいことを、論理的に筋道を立てて説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対頂角の意味を知る。 ・対頂角は等しいことを、論理的に筋道を立てて説明する。 <p>○同位角、錯角の意味を理解し、平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行線と同位角の関係を、基本性質として確認する。 ・平行線と錯角の関係を、平行線と同位角の関係をもとにして説明する。 	○ ○ ○	<p>【知】対頂角の意味と性質を理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】対頂角が等しいことを、論理的に筋道を立てて説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【知】同位角、錯角の意味を理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
10月	1 5	平行と合同	<p>○角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行線と折れ線の角の大きさの求め方を考え、図にかき加えた線や、根拠となる図形の性質を明らかにして説明する。 	○ ○ ○	<p>【思】角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】平面図形の性質について学んだことを学習に生かそうとしている。</p> <p>(ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
			<p>○平面図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しきつめ模様の特徴を図形の移動や合同の見方で観察する。 ・平面図形の合同の意味と表し方を知る。 ・合同な図形の性質を確認する。 <p>○三角形の合同条件を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある三角形と合同な三角形をかくためには、何がわかればよいかを考える。 	○ ○ ○	<p>【知】平面図形の合同の意味と表し方を理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】平面図形の合同の意味を考えようとしている。</p> <p>(ノート・ワーク・振り返りシート)</p> <p>【知】三角形の合同条件を理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考え、説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考えようとしている。</p> <p>(ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
10月	1 5	平行と合同	<p>○2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断する。 <p>○ことからの仮定と結論の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角の二等分線の作図の方法が正しいことを、三角形の合同条件を利用して証明することについて考える。 	○ ○ ○	<p>【知】ことからの仮定と結論の意味を理解している。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
			<p>○根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明する。 ・証明の書き方を確認する。 	○ ○ ○	<p>【思】証明の根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>

			<ul style="list-style-type: none"> 証明のためにかいた図と、仮定が同じで異なる図をかいた場合、その証明がどうなるかを考える。 			
1 1 月		三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。 二等辺三角形の2つの角は等しいことを証明する。 二等辺三角形の底角の性質を利用して、角の大きさを求める。 	○	○	<p>【知】二等辺三角形の頂角、底辺、底角の意味を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【知】二等辺三角形の底角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
			<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を見いだすことができる。また、正三角形の性質を証明することができる。 二等辺三角形の底角の性質の証明を読んで、頂角の二等分線の性質を見だし、証明する。 正三角形の定義を確認する。 正三角形の3つの角は等しいことを証明する。 	○	○	<p>【知】正三角形の定義と性質を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】二等辺三角形の底角の性質の証明を読んで頂角の二等分線の性質を見だし、証明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
			<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめることができる。また、二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 紙テープを折って重なる部分の三角形はどんな三角形かを調べる。 2つの角が等しい三角形の2辺は等しいことを証明する。 二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明する。 	○	○	<p>【知】二等辺三角形になるための条件を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【知】二等辺三角形になるための条件の証明において、辺や角の関係などを読みとることができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】二等辺三角形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
			<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。 2つの直角三角形はどんなときに合同であるかを考え、説明する。 2つの直角三角形が合同かどうかを、直角三角形の合同条件を使って判断する。 	○	○	<p>【知】直角三角形の合同条件を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考えようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
1 2 月		三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明する。 証明を振り返って、さらにわかることを考え、説明する。 	○	○	<p>【知】直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】証明を振り返って、新たな性質を見出すことができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】直角三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
			<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の定義と性質を理解する。 平行四辺形の定義と性質を確認する。 	○	○	<p>【知】平行四辺形の定義と性質を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】平行四辺形の性質を証明する方法を考えようとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
			<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質を証明することができる。 平行四辺形の性質を証明する。 	○	○	<p>【思】平行四辺形の性質を証明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
1 月		三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。 平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明する。 証明のための図をかいて、どんな図でも証明できていることを確認する。 	○	○	<p>【知】証明のためにかいた図は、すべての代表として示されていることを理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】平行四辺形の性質を学習に生かそうとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
			<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象を考察することを通して、平行四辺形になるための条件□2を証明することができる。 乗り物の人の乗る面がいつも水平になる理由を考える。 2組の対辺がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形であることを証明する。 平行四辺形の性質の逆を証明することを通して、平行四辺形になるための条件□3、□4を見いだすことができる。 2組の対角がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形であることを証明する。 対角線がそれぞれの midpoint で交わる四角形は、平行四辺形であることを証明する。 平行四辺形になるための条件□5を証明することができる。 あたえられた手順でノートに図をかくと、どんな四角形になるかを考える。 1組の対辺が平行でその長さが等しい四角形は、平行四辺形であることを証明する。 平行四辺形になるための条件を確認する。 平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統一的・発展的に考えたりすることができる。 平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明する。 平行四辺形になるための条件を利用して証明を振り返って、統一的・発展的に考える。 	○	○	<p>【知】平行四辺形になるための条件を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統一的・発展的に考えたりすることができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】平行四辺形になるための条件を学習に生かそうとしている。 (ノート・ワーク・振り返りシート)</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ○長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解する。 長方形、ひし形、正方形の定義をもとにして、それらが平行四辺形であることを証明する。 ○既習の内容を活用して、図形の性質を見だし証明したり、問題の条件を変えて統一的・発展的に考えたりすることができる。 1点を共有する2つの正三角形の頂点について成り立つ性質を予想し、その性質を証明する。 一方の正三角形を回転させても、同じ性質が成り立つことを証明する。 台形に対角線をひいた図の中にある面積の等しい三角形を見つける。 底辺を共有し、その辺に平行な直線上に頂点をもつ三角形の面積は等しい理由を考える。 多角形を、面積を変えずに変形する方法を考える。 	○	○	<p>【知】長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】長方形、ひし形、正方形の定義をもとにして、それらが平行四辺形であることを証明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【知】底辺が同じで高さが等しい三角形の面積は等しいことを理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】平行線の性質を利用して、図形を等積変形する方法を考え、説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】平行線の性質を学習に生かそうとしている。 (ノート・振り返りシート)</p>
3 学 期		三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> ○多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味及び確率の求め方を理解する。 1つのさいころを投げるとき、1の目が出る確率を、実験によらずに求める方法を考える。 どの場合が起こることも同様に確からしいときは、場合の数をもとにして確率を求めることができることを知る。 確率pの値の範囲が、$0 \leq p \leq 1$であることを確認する。 	○	○	<p>【知】多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味及び確率の求め方を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】実験によらずに確率を求める方法を、場合の数に着目して考え、説明することができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ○起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる 2枚の硬貨を投げるとき、表と裏の出方を3通りとして求めた確率と、実験結果が異なった理由を考える。 起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求める。 	○	○	<p>【知】起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。 (振り返りシート・定期考査・小テスト)</p> <p>【思】同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考え、説明することができる。</p>

月	9	確率				(振り返りシート・単元テスト・定期考査) 【態】同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えようとしている。 (振り返りシート・定期考査・小テスト)
			<p>○起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。また、起こりうる場合を2次元の表に整理し、確率を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求める。 ・起こりうる場合を2次元の表に整理し、確率を求める。 <p>○あることがらの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あることがらの起こらない確率の求め方を考える。 ・あることがらの起こらない確率を求める。 	○	○	<p>【知】起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えようとしている。</p> <p>【思】あることがらの起こらない確率を、場合の数について成り立つ関係に着目して考え、説明することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p>
	5	データの比較	<p>○複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花見期間と直前期間のデータを、さらに平日と休日に分けて表した4つのヒストグラムを比較する。 <p>○箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図とヒストグラムの対応について知る。 <p>○四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図を用いて、各商品の販売数の傾向を調べる。 	○	○	<p>【知】四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。 (振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【思】四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。</p> <p>(振り返りシート・単元テスト・定期考査)</p> <p>【態】四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を考えようとしている。 (ノート・振り返りシート)</p>